

■インドネシア：政府が第一次クラッシュプログラムの2年延期を発表

インドネシアのエネルギー鉱物資源省は 2009 年 12 月、当初 2011 年に完成するとしていた、1,000 万 kW に及ぶ石炭火力発電所の建設計画（第一次クラッシュプログラム、実施主体は国営電力会社 PLN）について、2013 年に延期すると発表した。同プログラムについては、金融危機の影響で資金調達が計画どおり進まず、2011 年中の完了が疑問視されていたもので、今回、正式に遅延を認めた。なお、第二次クラッシュプログラムの完成予定年である 2014 年を修正することについては言及されていない。第二次クラッシュプログラムには、石炭火力に加え、地熱発電所や水力発電所の計画もあり、国内の事業者に加え IPP の参画も予定されている。